

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

行動経済学を活用した「麻酔薬による環境問題」への意識づけとその効果

【目的】

現在、手術室で行われる全身麻酔のうち、一般的に用いられている吸入麻酔薬にはセボフルラン、デスフルランがあり、どちらも環境汚染が指摘されています。2022年、欧州会議にて提出されたフッ素系温室効果ガスの規制に関する提案書において、2026年1月1日よりデスフルランの使用を禁止することが提案されたことから、日本においても今後このような取り組みが行われることが予測されます。この研究では、「麻酔薬による環境問題」について介入を行うことにより、麻酔科医師や周麻酔期看護師の麻酔維持薬の選択・使用量が変化するかを明らかにすることを目的としています。

【対象】

2023年1月～2023年10月までに当院において手術時に全身麻酔を使用された方の麻酔を担当した麻酔科医師、周麻酔期看護師（患者さんからはその際の麻酔に関する情報を提供いただきます）

【方法】

診療記録より研究担当者が情報を収集し、データシートへ入力します。データシートはパスワードをかけたコンピューターを使用し、専用のハードディスクに保管した上で解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

この研究では、個人が特定できるような情報は収集しません。

【利用する試料・情報】

麻酔担当者：勤務形態

診療記録（手術日、麻酔維持薬、麻酔使用量、年齢、性別、BMI、診療科、術式、麻酔時間、既往歴等）

利用開始予定日：2023年8月4日

【試料・情報の取得方法】

診療情報：診療の過程で得られた情報

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2024年3月31日まで

【研究責任者】

横浜市立市民病院 看護部手術室 岩佐 葵

*この研究は横浜市立市民病院のみで行います

【情報の管理機関】

横浜市立市民病院 病院長 中澤 明尋

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1

電話 045-316-4580（病院代表） 看護部手術室 岩佐 葵

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。